

知っていますか水産普及情報

宗谷地区

水産技術
普及指導所

◆写真で見る普及指導所の活動 (347)

「青年部の活動を支えて」

当指導所は利尻漁協の四地区を対象に普及活動を行っています。その中の一つ鬼脇地区の青年部の活動を紹介します。

利尻島では、観光業と水産業が二大産業となっており、地域の名産であるシリコンプ製品や生ウニ丼を目当てに多くの観光客が訪れます。

鬼脇地区では、エソバフンウニ（以下ウニ）の水揚金額が全体の約三割を占める重要な魚種となっています。同地区のウニは、船外機船で箱メガネとたも網を用いて七〜八月の二ヶ月間漁獲されます。操業では、殻径サイズの規制や操業時間を制限するなど資源管理に厳格なルールを設けています。水揚げしたウニは漁業者が丁寧に剥き身にし、地下水を使って洗浄したのち出荷されます。また色の悪いウニの身を取り除き、厳選し



▲作業前の説明をする普及員



▲種苗生産の様子



▲熱心に作業を行う青年部員

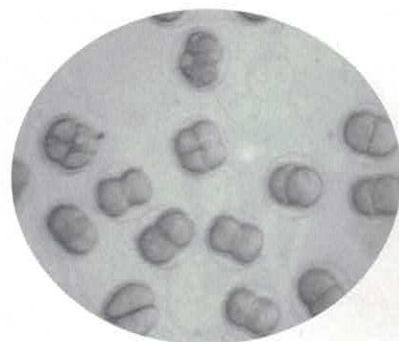
たものみを出荷すること取り決め、利尻ブランドを守っています。

鬼脇地区青年部は十四名で構成され、二十〜三十代の若手が中心で全部員がウニ採りに着業しており、指導所では漁模様や身入りの状況を巡回して聞き

取っています。その他、青年部が実施しているムラサキガイの養殖試験にも協力するなど、部員との繋がりを大切にしています。

このような中、青年部から当所に「青年部活動でウニを増やせないか」と相談があり、平

成三十年から受精卵放流を指導しました。青年部員は、これまで種苗生産に携わったことがなかったため、基本となる種苗生産方法のほかに、取り組みが長続きするよう簡易な方法や、自分たちで受精が確認できるように顕微鏡での観察や計数方法を指



▶顕微鏡で受精を確認

導しました。地元の役場もこの取り組みが根付くよう、独自にマニュアルを作成し若手部員に配布したことで活動が浸透しました。

開始から五年が経過した今では、青年部が自主的に計画を立てて進められる様になったほか、日頃から操業時にウニを観察し採卵に適した個体を持ち寄って、スピーディーに作業が行われるなど効率化が進んでいます。

今後も当所では、青年部の増殖への意識向上のほか、活動が活発に行われるよう支援を継続していきたいと考えています。